

大阪大学蛋白質研究所セミナー

# 蛋白質の機能デザインに向けた 実験と理論のインタープレー

大阪大学蛋白質研究所講堂 (吹田キャンパス)

2014年1月24日 (金)

9:25-9:30	開会のあいさつ	鷹野 優 (阪大)
9:30-10:10	蛋白質の静電場環境による活性のコントロール	石北 央 (阪大)
10:10-10:50	非天然金属中心を有する人工生体触媒をつくる	小野田 晃 (阪大)
10:50-11:50	金属結合タンパク質の設計と構築	田中 俊樹 (名工大)
12:50-13:30	配列パターンデザインによるデノボ蛋白質の半合理的創製とその応用	新井 亮一 (信州大)
13:30-14:10	蛋白質複合体構造予測の現状と課題：フレキシブルドッキング手法開発に向けての取り組み	黒田 大祐 (JHU)
14:25-15:05	生体触媒の誤作動状態を利用する物質変換	荘司 長三 (名大)
15:05-15:45	タンパク質中における色素の配置と電子状態の関係	藤本 和宏 (神大)
15:45-16:25	非天然アミノ酸導入技術の開発と蛋白質の人工機能デザインへの応用	芳坂 貴弘 (北陸先端大)
16:40-17:20	超分子蛋白質の機能設計	上野 隆史 (東工大)
17:20-18:00	理論計算による酵素の反応解析と機能デザインにむけて	重田 育照 (阪大)
18:00-18:05	閉会のあいさつ	重田 育照 (阪大)

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-2

E-mail: ytakano@protein.osaka-u.ac.jp

[世話人] 重田育照 (阪大基礎工)・鷹野優 (阪大蛋白研)

**事前登録不要・聴講無料**

主催：大阪大学蛋白質研究所